



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月9日

上場会社名 大東港運株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9367 URL <http://www.daito-koun.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根 好貞  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 荻野 哲司 (TEL) 03-5476-9701  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	9,667	△1.3	415	9.7	431	16.7	283	2.5
28年3月期第2四半期	9,795	△0.2	378	△6.7	369	△10.9	276	4.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 264百万円(△15.3%) 28年3月期第2四半期 312百万円( 4.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	31.89	—
28年3月期第2四半期	29.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	11,182	4,724	42.2
28年3月期	10,492	4,531	43.2

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,724百万円 28年3月期 4,531百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,300	△0.0	730	△5.2	740	△2.3	490	△5.7	55.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	9,389,000株	28年3月期	9,389,000株
29年3月期2Q	491,243株	28年3月期	491,243株
29年3月期2Q	8,897,757株	28年3月期2Q	9,244,899株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成28年11月9日に、四半期決算説明資料「第68期(平成29年3月期)第2四半期決算説明資料」を当社ホームページに掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景に雇用および所得環境などの改善が見られたものの、円高進行などによる企業収益への影響や個人消費の低迷等により、景気の回復に停滞感が見られました。

海外経済においては、米国では個人消費を中心に回復基調が続いているものの、欧州では英国の欧州連合(EU)離脱問題に起因する政治・経済の不確実性の高まり、アジアでも中国を始めとする新興国経済の景気減速リスク等、先行きは不透明な状況となっています。

かかる環境下、当第2四半期連結累計期間における物流業界におきましては、アメリカ、欧州およびアジアからの輸入は総じておおむね横ばいとなりました。

輸出に関してもおおむね横ばいで推移しました。

その中で当社取扱いの大きな部分を占める食品の輸入は、畜産物が増加、水産物、農産物およびその他は総じて減少となりました。

また、鋼材の国内物流取扱いにおいてはおおむね横ばいで推移しました。

このような状況の中、当社グループは「『ありがとう』にありがとう」のコーポレートフィロソフィーの下で、第5次中期経営計画「新たな成長に向けて」の最終年度を迎え、その各施策一つひとつを着実に実行するとともに積極的な受注活動を展開してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、前年同期間比1.3%減の96億67百万円となったものの、原価率の高い取引の減少等による粗利益率の上昇および減価償却費の減少により、連結経常利益は前年同期間比16.7%増の4億31百万円となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期間比2.5%増の2億83百万円となりました。

セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) セグメント情報」の「II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日) 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」を参照ください。

また、以下の前年同期間比較については、前年同期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## [輸出入貨物取扱事業]

輸出入貨物取扱事業は、主に水産物・農産物・日用品等の取扱が減少したため、売上高は前年同期間比1.2%減の83億77百万円となりました。セグメント利益は前年同期間比ほぼ横ばいの6億81百万円となりました。

## [鉄鋼物流事業]

鉄鋼物流事業は、売上高は前年同期間比ほぼ横ばいの7億18百万円となり、セグメント利益は18百万円となりました。

## [その他事業]

その他事業は、国内等の取扱が減少したため、売上高は前年同期間比4.3%減の5億70百万円となりセグメント利益は前年同期間比5.9%減の79百万円となりました。

## セグメント別売上高

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
輸出入貨物取扱事業	8,479,657	86.6	8,377,459	86.7	△102,198	△1.2
鉄鋼物流事業	719,575	7.3	718,912	7.4	△663	△0.1
その他事業	596,430	6.1	570,835	5.9	△25,595	△4.3
合計	9,795,663	100.0	9,667,206	100.0	△128,457	△1.3

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## 輸出入貨物取扱事業における取扱品目別売上高

取扱品目	前第2四半期連結累計期間 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
畜産物	3,421,588	40.3	3,630,257	43.3	208,669	6.1
水産物	1,653,304	19.5	1,433,548	17.1	△219,755	△13.3
農産物	1,168,137	13.8	1,148,985	13.7	△19,152	△1.6
その他	2,236,626	26.4	2,164,666	25.9	△71,959	△3.2
合計	8,479,657	100.0	8,377,459	100.0	△102,198	△1.2

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は11億82百万円となり、前連結会計年度に比べ6億90百万円増加いたしました。関税等立替金他(流動資産・その他)56百万円、有形固定資産27百万円それぞれ減少しておりますが、現金及び預金3億13百万円、受取手形及び営業未収入金2億43百万円、前払費用61百万円、投資有価証券64百万円、保険積立金他(固定資産・その他)71百万円それぞれ増加しており、それらが総資産増加の主な要因であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は64億58百万円となり、前連結会計年度に比べ4億97百万円増加いたしました。支払手形及び営業未払金1億79百万円、短期および長期借入金3億20百万円それぞれの増加が負債増加の主な要因であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は47億24百万円となり、前連結会計年度に比べ1億93百万円増加いたしました。利益剰余金2億12百万円の増加が純資産増加の主な要因であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比較し3億13百万円増加し、当第2四半期末には16億98百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は2億62百万円となりました。(前年同四半期は68百万円の増加)これは売上債権の増加額2億43百万円、法人税等の支払額1億33百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益4億31百万円、仕入債務の増加額1億79百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1億77百万円となりました。(前年同四半期は81百万円の減少)これは保険積立金の積立による支出69百万円、投資有価証券の取得による支出78百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は2億33百万円となりました。(前年同四半期は2億1百万円の減少)これは配当金の支払額70百万円があったものの、長期借入金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、通期の連結業績予想につきましては、平成28年11月2日に公表した数値に変更はございません。

今後の動向により業績予想の変更が必要な場合には速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

#### (会計上の見積りの変更)

##### (耐用年数の変更)

当社は現在、基幹系システムのリプレースを実施しており、平成28年9月23日開催の経営会議で次期基幹系システムの稼働時期を決定しました。

これにより、当第2四半期連結会計期間において、現行基幹系システムで利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,384,629	1,698,433
受取手形及び営業未収入金	2,825,718	3,069,253
たな卸資産	278,040	269,675
前払費用	55,138	116,493
繰延税金資産	114,397	112,539
その他	338,823	282,691
貸倒引当金	△19,002	△4,539
流動資産合計	4,977,746	5,544,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	654,862	632,190
機械装置及び運搬具(純額)	137,163	128,637
土地	2,282,394	2,282,394
リース資産(純額)	62,231	63,966
その他(純額)	41,338	43,617
有形固定資産合計	3,177,991	3,150,807
無形固定資産	212,267	236,623
投資その他の資産		
投資有価証券	787,612	851,733
破産更生債権等	60,447	59,697
繰延税金資産	321,630	313,149
その他	1,013,037	1,084,038
貸倒引当金	△58,573	△57,633
投資その他の資産合計	2,124,154	2,250,985
固定資産合計	5,514,413	5,638,416
資産合計	10,492,159	11,182,965

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,620,005	1,799,452
短期借入金	614,015	669,871
未払法人税等	147,616	157,256
賞与引当金	281,845	275,304
その他	424,696	428,420
流動負債合計	3,088,179	3,330,304
固定負債		
長期借入金	1,343,211	1,607,525
再評価に係る繰延税金負債	161,263	161,263
役員退職慰労引当金	4,704	5,000
退職給付に係る負債	1,187,752	1,177,348
長期未払金	69,140	69,040
その他	106,644	107,948
固定負債合計	2,872,715	3,128,125
負債合計	5,960,894	6,458,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,050	856,050
資本剰余金	625,295	625,295
利益剰余金	3,071,850	3,284,453
自己株式	△194,136	△194,136
株主資本合計	4,359,059	4,571,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	122,703	111,369
土地再評価差額金	56,288	56,288
為替換算調整勘定	19,366	7,932
退職給付に係る調整累計額	△26,153	△22,717
その他の包括利益累計額合計	172,205	152,872
純資産合計	4,531,265	4,724,534
負債純資産合計	10,492,159	11,182,965

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業収益	9,795,663	9,667,206
営業原価	7,693,099	7,516,992
営業総利益	2,102,564	2,150,214
販売費及び一般管理費	1,723,772	1,734,524
営業利益	378,791	415,689
営業外収益		
受取利息	1,118	2,750
受取配当金	7,540	6,560
受取保険金	3,402	8,462
受取地代家賃	4,099	227
その他	5,523	9,979
営業外収益合計	21,683	27,980
営業外費用		
支払利息	12,970	10,879
複合金融商品評価損	17,338	29
その他	547	1,241
営業外費用合計	30,855	12,149
経常利益	369,619	431,519
特別利益		
投資有価証券売却益	58,561	—
特別利益合計	58,561	—
特別損失		
固定資産除却損	56	44
会員権売却損	614	—
特別損失合計	670	44
税金等調整前四半期純利益	427,510	431,475
法人税、住民税及び事業税	133,695	135,852
法人税等調整額	16,924	11,838
法人税等合計	150,620	147,691
四半期純利益	276,890	283,784
親会社株主に帰属する四半期純利益	276,890	283,784

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	276,890	283,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,582	△11,334
土地再評価差額金	421	—
為替換算調整勘定	1,410	△11,434
退職給付に係る調整額	△3,987	3,435
その他の包括利益合計	35,427	△19,333
四半期包括利益	312,317	264,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	312,317	264,451
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	427,510	431,475
減価償却費	122,650	77,201
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△550	△15,403
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△29,488	△3,932
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	434	296
受取利息及び受取配当金	△8,658	△9,310
支払利息	12,970	10,879
為替差損益(△は益)	△60	3
複合金融商品評価損益(△は益)	17,338	29
投資有価証券売却損益(△は益)	△58,561	—
有形固定資産除却損	56	44
売上債権の増減額(△は増加)	△185,984	△243,334
たな卸資産の増減額(△は増加)	△66,264	8,364
仕入債務の増減額(△は減少)	25,900	179,446
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,222	△43,363
その他	△11,993	4,812
小計	243,075	397,210
利息及び配当金の受取額	9,457	9,313
利息の支払額	△13,252	△11,115
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△162,465	△133,258
役員退職慰労金の支払額	△8,100	△100
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,715	262,049
投資活動によるキャッシュ・フロー		
保険積立金の積立による支出	△132,583	△69,179
保険積立金の解約による収入	4,471	8,586
有形固定資産の取得による支出	△12,609	△22,933
無形固定資産の取得による支出	—	△21,000
有価証券の償還による収入	50,000	—
投資有価証券の取得による支出	△158,645	△78,747
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
投資有価証券の売却による収入	89,383	—
貸付けによる支出	△29,691	△5,300
貸付金の回収による収入	7,381	6,313
その他	731	5,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,564	△177,003

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	200,000
短期借入金の返済による支出	—	△200,000
長期借入れによる収入	440,000	710,000
長期借入金の返済による支出	△358,385	△389,830
自己株式の取得による支出	△192,456	—
リース債務の返済による支出	△15,913	△15,825
配当金の支払額	△74,469	△70,982
財務活動によるキャッシュ・フロー	△201,223	233,361
現金及び現金同等物に係る換算差額	532	△4,603
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△213,540	313,804
現金及び現金同等物の期首残高	1,507,589	1,384,629
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,294,048	1,698,433

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流事業	その他事業	合 計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	8,479,657	719,575	596,430	9,795,663	—	9,795,663
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	12,419	31,229	43,648	△43,648	—
計	8,479,657	731,995	627,660	9,839,312	△43,648	9,795,663
セグメント利益	681,725	1,677	84,583	767,986	△389,194	378,791

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用389,194千円であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流事業	その他事業	合 計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	8,377,459	718,912	570,835	9,667,206	—	9,667,206
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	11,873	43,746	55,619	△55,619	—
計	8,377,459	730,785	614,581	9,722,825	△55,619	9,667,206
セグメント利益	681,865	18,094	79,565	779,525	△363,836	415,689

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用363,836千円であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営管理の実態に即した区分にするため、業務内容をベースにした区分から取扱貨物をベースにした区分へ事業セグメントの見直しを行ったことに伴い、報告セグメントを従来の「港湾運送事業及び港湾付帯事業」、「その他事業」から「輸出入貨物取扱事業」、「鉄鋼物流事業」及び「その他事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。